

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2014-223087(P2014-223087A)

【公開日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-066

【出願番号】特願2014-177554(P2014-177554)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月25日(2016.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抗がん剤のスクリーニング方法であって、

(a) 被験物質の存在下及び非存在下、細胞または組織を浮遊させて培養できる構造体を含有することを特徴とする培地組成物中であってがん細胞を培養する工程、及び

(b) がん細胞の増殖の変化を測定する工程、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

さらに、被験物質の非存在下の場合と比べて、がん細胞の増殖を抑制する物質を候補物質として選択する工程を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記培地組成物の粘度が、 $8\text{ mPa}\cdot\text{s}$ 以下であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記構造体の大きさが、フィルターで濾過した場合、孔径が $0.2\text{ }\mu\text{m}$ 乃至 $200\text{ }\mu\text{m}$ のフィルターを通過するものであることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記構造体が高分子化合物を含有することを特徴とする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記高分子化合物が、アニオン性官能基を有する高分子化合物を含有することを特徴とする、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記高分子化合物が、多糖類であることを特徴とする、請求項 5 又は 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記アニオン性官能基が、カルボキシ基、スルホ基およびリン酸基からなる群から少なくとも 1 種選択されることを特徴とする、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記多糖類が、ヒアルロン酸、ジェランガム、脱アシル化ジェランガム、ラムザンガム

、ダイユータンガム、キサンタンガム、カラギーナン、フコイダン、ペクチン、ペクチン酸、ペクチニン酸、ヘパラン硫酸、ヘパリン、ヘパリチン硫酸、ケラト硫酸、コンドロイチン硫酸、デルタマン硫酸、ラムナン硫酸及びそれらの塩からなる群から少なくとも１種選択されることを特徴とする、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記多糖類が、ヒアルロン酸、脱アシル化ジェランガム、ダイユータンガム、キサンタンガム、カラギーナン及びそれらの塩からなる群から少なくとも１種選択されることを特徴とする、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記多糖類が、脱アシル化ジェランガムまたはその塩であることを特徴とする、請求項 9 又は 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記脱アシル化ジェランガムまたはその塩の培地組成物に対する最終濃度が、0.001～1.0%（重量／容量）であることを特徴とする、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

さらに、脱アシル化ジェランガムまたはその塩以外の多糖類を含有することを特徴とする、請求項 11 又は 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記多糖類が、キサンタンガム、アルギン酸、カラギーナン、ダイユータンガム及びそれらの塩からなる群から少なくとも１種選択されることを特徴とする、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記多糖類が、メチルセルロース、ローカストビーンガム及びそれらの塩からなる群から少なくとも１種選択されることを特徴とする、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

前記培地組成物が、さらに、金属イオンを含有することを特徴とする、請求項 1 乃至 15 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 17】

前記金属イオンが、２価の金属イオンであることを特徴とする、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記金属イオンが、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、亜鉛イオン、鉄イオンおよび銅イオンからなる群から少なくとも１種選択されることを特徴とする、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記金属イオンが、カルシウムイオンであることを特徴とする、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

さらに、カルシウムイオン以外の金属イオンを含有することを特徴とする、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

前記金属イオンが、マグネシウムイオン、ナトリウムイオンおよびカリウムイオンからなる群から少なくとも１種選択されることを特徴とする、請求項 20 に記載の方法。